

法人理念	・療育と教育を繋ぐ！暮らしの力を育てる療育！		
支援方針	・早期療育に取り組み、個々の子ども達の成長・発達と学習体勢づくり、基本的人間関係の形成を目指す。		
基本情報	営業時間	営業時間 9時～18時 サービス提供時間 月曜～金曜 14時～18時 土曜・園校休業日 10時～18時	送迎実態の有無 有
プログラム		支援内容	5領域
1 本人支援	療育プログラムの三本柱	(通称：ことばの勉強) ・言葉や数の理解を深め、ことばを増やす・コミュニケーション力を伸ばす・考える力を伸ばす・概念を育てる等の学習を行う。	言語・コミュニケーション
	身体を育てる	(体づくり①) ・ウォーキングを中心に、生きていくために必要な身体の動きや、自分の身体を意識してコントロールする方法を学ぶ。	運動・行動
	適応力・社会性を育てる	(体づくり②) ・こだわりやパターン行動、みんなと一緒にの行動等が苦手、基本的な生活習慣の定着等、個々の課題を集団指導をベースに改善する。	人間関係・生活・社会性
	「地域の学び」	(エンジョイタイム) ・「地域の子どもは地域で育てよう」というスタンスのもとに、地域の方々による、様々な体験活動の場である。 ・ 絵画・習字・工作・和太鼓・絵手紙・読み聞かせ・歌リズム遊び・木で遊ぼう等 ・ 毎週土曜日・校園長期休業日等の取組	人間関係・社会性
	認知機能強化学習	(パワーアップ) ・活動や学習の土台となる、記憶・知覚・注意・言語理解・判断・推論のトレーニング	認知・行動
	調理体験活動	(昼食づくり体験) ・調理師のレシピ・指導をもとにした、調理体験活動 ・ 毎週土曜日・校園長期休業日等の取組	健康・生活
2. 家族支援	○子育ての悩みを聞き、親子関係の信頼を築くことを大切にしながら、適切な方法を一緒に考える。		
3. 移行支援	○校園との日常的な連携に加え、特に下校後の過ごし方や友達との関わり方等の支援指導の共有を図る。		
4. 地域支援・地域連携	○独自のプログラム「地域の学び」を展開する。自立支援協議会や各市町村福祉課との連携を行う。		
5. 職員の質の向上に資する取組	○毎月の定例研修・毎週の打ち合わせ会での内部研修を充実させる。外部研修の還流を行う。		
6. 主な行事等	・独自の「子ども作品展」・那岐山登山・そうめん流し・お餅つき・ブドウや野菜づくり体験 等		